

筑波経済月報 No.121 2023.8

■ 企業探訪

人をつなぐ 街をつなぐ 未来をつなぐ 総合不動産会社

香陵住販株式会社

■ 支店長のわがまち紹介

ひたちなかファンを増やし、未来の価値を共創する

ひたちなか市

■ 研究員レポート

第79回「茨城県内企業経営動向調査」(2023年6月調査)

2023年夏季ボーナス支給に関するアンケート調査

筑波総研 株式会社



人が集うまち「ひたちなか」



平磯町三社祭



ひたちなか祭り



みなと八朔まつり



那珂湊海上花火大会

ひたちなか市は、世界の絶景に選ばれたネモフィラの丘や夏から秋にかけて緑から赤へ色を変えるコキアを目当てに毎年多くの観光客が訪れる国営ひたち海浜公園が有名ですが、今年の夏は3つの祭りの熱気に包まれます。

平磯町三社祭は天保年間(1831~45年)から続く伝統のお祭りで、3年に1度開催されます。華やかな山車に門付けの手踊り、笛・三味線・太鼓のお囃子、威勢のいい引手たちとの合いの手などが見所です。

ひたちなか祭りは市を代表する市民祭りです。祭りに先立ち開催される花火大会は4年ぶりに陸上自衛隊勝田駐屯地での開催となり、目の前で打ち上げられる3,000発の花火は迫力満点で、フィナーレを飾るメロディ付ジャンボスターマインは必見です。翌日の本祭りでは山車・神輿パレードやダンスパレードコンテストなど、世代を問わず楽しめるイベントが多数開催。今年は水をテーマとしたビッグイベントも計画中です。

みなと八朔まつりは那珂湊天満宮の祭神が、その昔海から出現したという伝説にもとづく浜降祭りです。浜降りの厳粛な出興と還興、海中の神輿もみ、荘重な笛と太鼓にあわせた獅子舞、みろく踊り、華麗なひき屋台とお囃子など、見所満載です。

ひたちなか市民は祭り好きなのでしょうか、どの祭りも多くの人で賑わい、祭りのために地元に戻る人も。祭りは家族や友人、懐かしい人との集いの場でもあります。

8月初旬からはじまるひたちなかの祭りの季節は9月の那珂湊海上花火大会まで続きます。海浜公園で季節の花々を愛でながら、3つの祭りが彩るひたちなかの暑い夏を体験してみませんか。

【平磯町三社祭】	8月5日(土)~6日(日)
【ひたちなか祭り】	花火大会 8月19日(土) 本祭り 8月20日(日)
【みなと八朔まつり】	8月26日(土)~27日(日)
【那珂湊海上花火大会】	9月9日(土)

《Information》
祭り開催場所

- ◆ 平磯町三社祭
①ひたちなか市平磯町全域
- ◆ ひたちなか祭り
②花火大会 陸上自衛隊勝田駐屯地
③本祭り 市営勝田中央駐車場他
- ◆ みなと八朔まつり
④那珂湊天満宮
- ◆ 那珂湊海上花火大会
⑤那珂湊漁港堤防
- ◆ お問い合わせ
ひたちなか市観光振興課
電話 029-273-0111

表紙：国営ひたち海浜公園 緑コキア
(写真提供/ひたちなか市)